

1-4 芯の準備 (座金・モールド)

ワックスを溶かした際に芯も同時に準備していきます。芯はロウ処理してからモールドや容器に取り付けましょう。溶けたワックスは大変熱いので、割りばしやゴム製の軍手を使い冷めるまで素手で触らないよう注意します。



①モールドや容器の高さを測り芯の長さをカット
モールドの高さより5cm程長めにカットすること。
(穴を塞ぐ際の結び分と、芯の固定分を計算する)



②パラフィンワックスを溶かす(70℃程度)
ジェルキャンドルを作る際は必ずジェルワックスで溶かすこと。
(パラフィンを浸した芯で作るとジェルが濁る原因となる)



②クッキングペーパーを折り
火傷に注意しながら余計なロウを落とす

③芯を浸し芯から出る気泡が消えたら取り出す
割りばしで取り出し、暫くたつと手で触れるくらいの温度になるので余分なロウを落とす。
(取り出した芯をすぐにクッキングペーパーにおいても良いが、余分なロウが固まり、モールドにセットしづらくなる為注意)



④座金にセットする
座金に芯を通し、5mmくらい通したところで座金の底に沿うように芯を折っておく。
座金の穴の方が大きいので、抜けないよう手で固定しておく。



⑤芯が抜けないようにペンチで固定
片手で先ほど固定した底を持ち、もう片方の手でペンチを持つ。
芯を通った座金の突起部分をペンチで潰し抜けないよう固定する。



⑥瓶に固定
芯がセットされた座金を瓶の中心に固定する。
その際、竹串を使い芯を真ん中に持ってくる方法もあるが、座金の底に両面テープや専用シールを貼ると上手く固定できる。

①ワックスを溶かす鍋について

ジェルワックスを溶かす際は鍋にパラフィンが残っていないか必ず確認すること。(濁りの原因になるため)

鍋の掃除はキャンドルを制作するたび(鍋が温まっている時)に行うと簡単に拭き取れる。(レッスンの際も習慣づけて生徒さんにしていただくとよい)
もし、時間が経ってしまった際はヒートガン(エンボスヒーター)で蠟を溶かしながら拭き取る。